

## 世界防災フォーラム 2025 で災害科学国際研究所からの共同セッションを開催しました (2025/03/7)

テーマ：災害科学、国際研究協力、高等教育、災害レジリエンス、大規模災害、備え  
会場：仙台国際センター会議棟、大会議室「橘」

令和7年3月7日～9日、4回目となる世界防災フォーラム2025が仙台国際センターで開催されました。3月7日、東北大学の指定国立大学災害科学コアリサーチクラスター（クラスター長：今村文彦教授（津波工学研究分野）、副クラスター長：寺田賢二郎教授（計算安全工学研究分野））を中心として、災害科学国際研究所、APRU マルチハザードプログラム、大学の世界展開力強化事業、災害レジリエンス共創センターが協力し、5つのセッションを行いました。

セッション01（司会：マリ・エリザベス准教授（国際研究推進オフィス））

杉本亜沙子理事・副学長（研究担当）、今村クラスター長、環太平洋大学協会（APRU）の最高責任者である Thomas Schneider 教授（代読：泉貴子教授（国際環境防災マネジメント研究分野））より開会の辞が述べられました。

セッション02（司会：ボレー・セバスチャン准教授（国際研究推進オフィス）、寺田教授）

災害科学コアリサーチクラスターのクロスアポイントメント教員（ハーバード大学の Andrew D. Gordon 教授、ワシントン大学の John Y. Choe 准教授、ロンドン大学（UCL）のアレキサンダー・デビッド・エリック教授（国際研究推進オフィス、特任教授（客員））と Andrea Révész 教授の共同研プロジェクトの活動・進捗報告がありました。また、「国際社会での防災・減災への貢献」する目標の上で、災害実践研究領域（水谷歩助教、災害ジオインフォマティクス研究分野）、災害理学研究領域（木戸元之教授、海域地震学研究分野）、災害人文研究領域（ボレー准教授）、災害医学研究領域（江川新一教授、災害医療国際協力学分野）がそれぞれの社会実装の成果及び国際協力・多学際的研究の成果を発信しました。

セッション03（司会：泉教授）

APRU のマルチハザードプログラムの活動や成果、今後の活動計画などについて、Olivia Jensen 博士（シンガポール国立大学（NUS））、Rajib Shaw 教授（慶應義塾大学）、Denise Eby Konan 教授（ハワイ大学）から報告がありました。また、Sujit Kumar Mohanty 博士（UNDRR）を含めて、発表者らからマルチハザードプログラムの活性化、アジア太平洋地域の大学の連携について議論を行いました。

セッション04（司会：サッパシー・アナワット准教授（津波工学研究分野））

大学の世界展開力強化事業主催で、2022年から始まっている「東北大学とUCLの国際学術協力による災害科学のイニシアティブ」に関わっている参加学生たち（三浦耀平・東北大学、Hayley Leggett・東北大学、水越海翔・UCL 卒業生、Nattapon Trumikaborworn・アジア工科大学院）、UCLの教員（Stephen Roberts 博士、Sarah Dryhurst 博士）から国際交流・教育プログラムの成果について進捗状況、今後の方向性、災害リスク軽減分野における能力イニシアティブについてディスカッションがありました。

セッション05（司会：江川教授）

災害レジリエンス共創センターの主催で、「壊滅的災害からの復興と巨大災害への備え」のタイトルで、フィリピン、オーストラリア、日本から災害科学、健康、コミュニティレジリエンス、政策立案の専門家を招き、大規模災害からの復興経験と西太平洋地域で予想される災害への備えについて共有しました。また、そのさまざまな議論は防災セクターと保健セクター間のさらなる協力を促進することになりました。

今回の研究活動・国際協力研究成果の報告は、第4期（2022—2025年）の災害科学コアリサーチクラスターと多学際研究活動や社会実装を目指している災害科学国際研究所が引き続き重要な役割を担っていることの証明になりました。当研究所は、国際性、実行力、研究力と持続的な国内・国外の研究者と研究機関、また、政府や国連機関などとの強い協力や連携、国際的な共同研究や減災活動を通じ、レジリエント社会の構築と国際的防災力の強化に貢献することが期待されます。

（次頁へつづく）

文責：朴 慧晶（災害医療国際協力学分野）  
 富田 史章（海域地震学研究分野）  
 水谷 歩（災害ジオインフォマティクス研究分野）  
 井川 裕覚（大学院文学研究科・文学部・助教）  
 北村 美和子（国際研究推進オフィス）  
 寺田 賢二郎（計算安全工学研究分野）  
 江川 新一（災害医療国際協力学分野）



セッション 1：今村クラスター長より  
開会の辞



セッション 2 の 1：クロスアポイントメント  
教員による活動報告



セッション 2 の 2：災害科学コアリサーチ  
クラスターの研究領域活動報告



セッション 3：APRU マルチハザード  
プログラムセッション



セッション 4：大学の世界展開力強化事業  
セッション



セッション 5：災害レジリエンス  
共創センターセッション